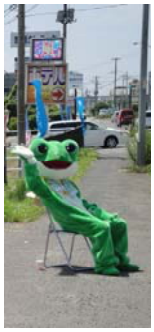

第1号　平成22年7月　　山北調査設計株式会社

山北ニュース

発行元
山北調査設計㈱
〒963-0204
福島県郡山市土瓜1-209
TEL：024-951-7293
FAX：024-951-7273
http://www.yamakita.tv

郡山で初開催　おもちゃの交換会

平成２２年７月１８日、福島県郡山市富田親水公園にて、「第３０回逢瀬川ふれあい通りｉｎ　Ｓｕｍｍｅｒ」と共催で、「かえっこバザール郡山ｉｎ逢瀬川ふれあい通り」が開催されました。

　山北調査設計㈱は、ボランティア団体「ほほえみクラブ」として、林英幸社長を筆頭に実行委員として参加しました。

→ＮＰＯの吉田さん（前列左）と実行委員長の林社長（前列左から二人目）◆福島民報より

「かえっこ」とは、遊ばなくなったおもちゃを持ち寄り、世界共通のこども通貨・カエルポイントに交換し、そのポイントを使って別のおもちゃと交換するという遊びです。

　当日おもちゃを持ってこなくても、ワークショップでさまざまな体験をしたり、お手伝いをしてもポイントがもらえます。カエルポイントを溜めることで、オークションに参加し、とびきりのおもちゃと交換もできます。

　福島県内では、いわき市を中心に会津・相双で「かえっこ」が開催されていたのですが、郡山では今回が初めての開催となりました。

　「逢瀬川ふれあい通り」実行委員会、ＮＰＯ法人インディアン・ヴィレッジ・キャンプのご協力のもと、「かえっこバザール郡山ｉｎ逢瀬川ふれあい通り」として開催が決定しました。

　６月６日には南相馬市で相双初の「かえっこ」があり、勉強も兼ねてスタッフとして参加しました。

→おもちゃを選ぶ親子。三段階の点数が付けられている。

　準備したワークショップは、エコ釣り、わなげ、ペットボトルボウリング、クイズコーナー、まめまめ体験、エコカルタ・紙芝居のほか、「逢瀬川ふれあい通り」より木工、竹細工、カヌーとバラエティに富んだ内容となりました。

　また、今回はエコをテーマとしており、各コーナーごとさまざまな面からエコを取り入れました。

→国道沿いで手を振るカエル。羽石社員とお手伝いスタッフが交代で奮闘していた。

　開始時刻前でしたが、すでに子どもたちや親子が集まり始めたため、少し早めにスタート。

　受付には長い列ができるほど、たくさんの人が来てくださいました。昼過ぎまで、列が途切れることはほとんどありませんでした。

　来場者の９割以上が郡山市内からでしたが、なかには宮城県仙台市から開催を聞きつけて来てくださるなど、興味関心の高さを実感しました。初めての参加で戸惑っていた方も見受けられましたが、おおむね理解していただけたようです。

→ペットボトルボウリング。ＣＯ２排出や、水・電気の無駄づかいなどの怪獣の絵が描かれ、ボールで倒しつつ環境問題を学ぶ。◆福島民友より

当初、午後二時から予定していたオークションでしたが、来場者数と時間、天候状態などを考慮し、急遽正午からもオークションを開催しました。おもちゃとの交換や、ワークショップで溜めたカエルポイントを使い、欲しいおもちゃを手に入れるため、子どもたちは一喜一憂しながら参加していました。

二回とも大盛況に終わり、大人も子どもも笑顔があふれました。

→エコ釣りの様子。段ボールに逢瀬川に生息する魚や生物、外来種が描かれており、遊びながら逢瀬川の生態を学ぶ。
◆福島民友より

前日まで不安定な天候が続き、開催も心配されていましたが、幸い天候に恵まれ、当日は朝から快晴となりました。この日、ちょうど東北南部の梅雨明けが発表されたこともあり、気温も三十度を超え、真夏日となりました。熱中症も危惧しておりましたが、大きなトラブルもなく、無事に終了しました。

たくさんのスタッフの皆さんのお力添えにより、郡山初の「かえっこ」を開催することができましたこと、ご協力いただいたすべての方々、また当日ご来場いただいた皆さんに、心から感謝いたします。

このイベントを通して、エコへ更に興味を持ってもらえればと思います。当社ほほえみクラブも、この経験を胸に、より一層取り組んでまいります。

参加者コメント

イベントに参加した社員からコメントをいただきました。

当日は予想以上の暑さでしたが、スタッフ皆様の素晴らしい行動力で、参加した子どもたちの純粋な笑顔を引き出すことができました。また、エコについて「遊びながら覚える」ことも十分に実行できたと考えています。今後も地域の貢献の為に未来の大人たちへ、今私たちが伝えられることとは何かを考え実行していきたいと本気で思いました。【林】

逢瀬川ふれあい通りの実行委員も兼ねての参加でした。いろんな植物の葉や実を使つたネイチャーゲームでは、子どもならではの発想の作品が多く感心させられるばかりでした。

また、カヌーでは、悪戦苦闘しながらも楽しんでいる子どもたち、どうしても乗りたくて泣き出してしまった子どもたちもいましたが、最後に乗れて喜んでくれた姿が印象的でした。（嬉しそうだったなー）

最後に、県中建設事務所の所長ご夫妻をはじめ、ご協力をいただきました皆様方に感謝申し上げます。そして、参加していただきました皆様、ありがとうございました。【小松】

子どもたちにとっては、非常に夢のあるイベントだったと思います。当日は夏晴れのなか、屋外での開催となつたため、ちょっこし暑すぎたのが難点だったと思われます。

次回も楽しみにしている子どもたちに、将来を明るくできる催し物ですネ。【小沼】

数多くのお客様に来ていただき、子どもたちの喜ぶ顔を間近でたくさん見れたことが良かったです。「人の喜ぶ顔は周りの人を元気にしてくれるんだなぁ〜」と子どもたちから教えてもらいました。

来てくれた子どもたちへ〜ありがとう…。【大平】

暑い中とても大変でしたが、子どもたちが喜んでくれたので、とてもよかったです。【羽石】

子どもたちの無邪気な笑顔に感動です。【菅野】

今回の「かえっこ」を通して、子どもたちの自分から「お手伝いをしたい！」と思う気持ちが素晴らしいと思いました。そして、この日はちょうど梅雨明けで、ものすごく暑い一日となりましたが、子どもたちの笑顔を見ていると、こっちまで楽しくなって暑さも吹っ飛びました。一生懸命準備をした分、大人から子どもまで、たくさんの方にお越しいただき、本当に嬉しかったです。【柳田】

夏の太陽にも負けない、子どもたちの元気な笑顔が眩しい一日でした。お集まりいただいたすべての皆様に感謝致します。【山田】

バイオ事業課
エコ製品
ほほえみ小鉢

建築・土木ほか幅広い分野に
赤外線サーモグラフィ調査

◆公式ブログ「きょうの山北」
http://ameblo.jp/yamakita-tyousa-sekkei/